

事務事業名	市民手帳作製事業	整理番号	51201-000
所管	企画課 広報スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 15年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策	5-1 市民主体の行政運営	関連政策
	政策	5-1-2 開かれた行政の推進	

事務事業の内容

目的 (何のために)	行政情報を盛り込んだ手帳を作製し、携帯することにより市民の日常生活の利便性を高める。
対象 (誰・何を)	市民
手段 (どのようなやり方で)	ポケットサイズ(縦12.5センチ、横8.5センチ)の大きさに258ページ、1,000部を作製。内容は1月から翌年3月までのカレンダー、市の行事、統計資料、窓口案内、ごみ処理、JR御殿場線・高速バスの時刻表などの生活情報を掲載。市役所、駅前サービスセンター、市役所各支所などで1部500円で希望者に販売。広報紙、地元新聞などで紹介。
成果 (どのような状態にしたいか)	市民が手帳を携帯することにより、市の行事やお知らせなどの行政情報を知り、日常生活面で利便性が図られる。
事務事業の背景・住民の意向	・県民手帳よりも市民が使いやすい手帳の作製要望あり。
見直し改善の経過	・内容の更なる充実と周知を図った。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	ページ数 252 作製部数 1,000 販売部数 688	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■ 直接経費(上段) □ 人件費(下段)</p>
平成17年度	ページ数 236 作製部数 1,000 販売部数 632	
平成18年度	ページ数 258 作製部数 1,000 販売部数 959	

評価指標

販売部数(部)	1部当たり作製経費(円)	行政情報量(頁)

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	年々市民の間にも周知されてきたが、使い勝手の良さ、内容の充実を図りながら、更なる周知を図り販売部数を増加させる。	今後の方向性
	有効性		
効率性			
一次評価	B		継続
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	
二次評価	D	作製数や販売数からも、必要性は低い。	今後の方向性 休廃止

改革プラン

平成19年度からの対応	・掲載内容等の更なる充実を図るとともに販売開始をなるべく早めるようにする。「もっと早い時期に販売してくれば購入したい」という声を反映し、今年度は11月中の販売を実施した。また、今後は利用者に掲載内容や手帳自体の大きさなどについて意見を寄せてもらうことも検討している。
平成20年度以降の対応	前年度の対応を受け、更なる利用者(販売)増を目指す対応をとることを目指す。
改革により予想される成果	・販売部数の増加や市民サービスの向上が図られる。